



# 大田区自立支援協議会だより 第24号

【編集・発行】大田区自立支援協議会

【事務局】大田区立障がい者総合サポートセンター

【電話】03-5728-9134 【FAX】03-5728-9136

令和6年1月発行

「大田区自立支援協議会」は、障がい児・者の地域での自立した生活を支援するため、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者が参加して、定期的な協議を行い地域での課題について情報を共有し、連携を取りながら具体的な検討を行うことを目的として区が設置しています。



## 全体交流会を開催しました！

10月2日（月）、さぽーとぴあにて令和5・6年度「全体交流会」を開催しました。

協議会委員同士の顔の見える関係づくり、つながりを構築するとともに、各専門部会をはじめ、協議会を知る機会となることを目的として、「あなたにとっての“あんしん”とは何ですか？」をテーマに、部会の垣根を越えて意見交換を行いました。

### 【アンケート結果(概略)】

<参加数:27(全体50), アンケート回収数:17(全体27)>



アンケートをご提出いただいたすべての方から、参加してみて「よかった・とてもよかった」という回答をいただきました。一方、参加数としては、全協議会委員のうち半数程度となり、課題が残る結果となりました。引き続き運営会議等とおして、多くの委員の皆様にご参加いただける交流会が企画できるよう努めてまいります。



### 大田区自立支援協議会 山根 聖子副会長

運営会議では、協議会委員同士が知り合い、身近で起こっていることに関心を持ち、共有する場に全体交流会がなるよう準備を進めてきました。

当日は、各グループともテーマを軸に活発な意見交換の輪が広がっていました。アンケート結果からは「普段交流のない人の考え方を知ることができた」、「部会に持ち帰る材料を得た」さらに発展して「障がいのある人を取りまく法律などの勉強をしたい」、「当事者のお話をもっと聞きたいのでまた参加したい」など、次に期待する感想もありました。

引き続き運営会議では、専門部会の活動を支えるとともに、協議会全体として、人と地域を結びつける役割を果たすことができるよう努めてまいります。





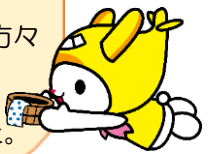
### 相談支援部会 貝森 はるみ委員 (大田区立障がい者総合サポートセンター)

全体交流会では、地域生活部会と防災・あんしん部会の方々と直接お話をすることができ、共通のテーマ「あなたにとっての“あんしん”とは何ですか？」についての意見交換をグループに分かれて行いました。

衣食住の確保ができて、つながれる人がいる、健康で過ごせる、何かあったらこの人という頼りになる人がいる等の一般的な意見が多く出た中で、漠然とした不安は無くならない、不安はあっても良いと思うが、少しでも人とのつながりで軽くなれば良いという意見も上がりました。

親の“あんしん”と子の“あんしん”は違う、それぞれの世代によつての“あんしん”がある、“あんしん”は一人一人違う、自分の“あんしん”を相手に押し付けないようにしたい、今回の交流会でそれぞれの所属の人同士が集まり、顔の見える“あんしん”につながつた、自分が“あんしん”だと地域の方々の“あんしん”にも貢献できるようになる、など奥の深い意見がたくさんでました。

交流会での意見のやり取りを通して、改めて地域での“あんしん”について考えることができました。



### 地域生活部会 小松代 菜央委員 (大田区重症心身障害児(者)を守る会)

今回で2回目となる全体交流会、テーマは「あなたにとっての“あんしん”とは何ですか？」でした。グループに分かれての意見交換では、異なる障がいや異なる立場の方々と話し合うことで、一言で“あんしん”と言っても様々な捉え方があることを知りました。3部会合同だからこそ聞けたお話もたくさんあり、改めて貴重な場だと感じました。

グループでは、「障がい理解、顔の見える関係、人とのつながりが“あんしん”につながる」などの意見が多くありました。地域生活部会の参加者からは、「障がいのある子どもによって結びつけてもらった人との巡り合わせが“あんしん”につながつている」、「災害時など、その核となるものは障がい理解や地域の方とのつながり、安心して生活できる環境づくりであることが再認識できた」、「部会で話し合っているテーマと重なる部分も多々あり、その重要性を改めて感じた」などの感想がありました。

この全体交流会でできた新しいつながりに感謝し、今後の活動にも活かしていきたいと思います。ありがとうございました。



### 防災・あんしん部会 石塚 由江委員 (大田区手をつなぐ育成会)

10月2日に開催された自立支援協議会の全体交流会に参加し、3つの専門部会の垣根を超えた活発な意見交換を体感することができました。

グループワークに入る前の「つながりシート」(協議会委員同士がつながり、知り合うツール)を活用した自己紹介や、アイスブレイク(「今年の私の夏の思い出」を話す)は、初対面の方との緊張感を和らげ、安心して発言できる場づくりに功を奏していました。

「あなたにとっての“あんしん”とは何ですか？」をテーマに、障がいのあるご本人・ご家族、相談員・支援員の方等、様々な立場のなかで「話すこと・傾聴すること」を通して、それぞれの背景を知り、思いを共有することができました。最後のグループごとの発表で、「まず、自分自身を“あんしん”できるようにする」、「ちょっとの不安があるから、“あんしん”できるように行動していく」等、前向きで心に響く言葉をたくさん聴くことができ、改めて「交流会」の意義を深く味わいました。



▶日時：令和6年3月6日(水) 14時～16時

▶会場：大田区立障がい者総合サポートセンターA棟 5階多目的室

どなたでも傍聴できます。(※当日、会場にて受付・先着10名様まで) 特別な配慮を希望される方は、事前に事務局までご相談ください。

大田区自立支援協議会  
第2回本会開催のお知らせ

